

東急大井町線（戸越公園駅付近）連続立体交差事業の着工準備採択について

1 背景

東急大井町線戸越公園駅付近における連続立体交差事業については、平成28年3月に事業主体である東京都が事業候補区間に位置づけ、鉄道立体化の可能性について調査検討を進めてきた。

今回、調査検討結果を踏まえ、東京都は国に対して連続立体交差事業の着工準備に係る補助金を要望し、令和3年4月に新規着工準備箇所として採択され、事業化に向けて具体的な調査を進める段階となった。

2 これまでの主な経緯

- 平成20年4月 鉄道立体化を目的に戸越公園駅周辺まちづくり協議会の発足
- 平成25年2月 区まちづくりマスタープラン策定（踏切解消等を位置付け）
- 平成27年1月 戸越公園駅周辺まちづくりビジョン策定
- 平成28年3月 東京都において連続立体交差事業の事業候補区間に位置付け
- 令和元年7月 東急大井町線立体化促進ワーキンググループの設置
- 令和2年1月 戸越公園駅周辺まちづくりビジョン基本計画編策定
- 3月 区とまち協で鉄道立体化の早期事業化に向けて要望書を都へ提出
- 7月 区議会より鉄道立体化の早期事業化に向けて意見書を都へ提出

3 事業化までの流れ

連続立体交差事業は、都市計画事業として施行するため、今後都市計画法上の手続きを経て、事業化していく。

事業化までの流れと戸越公園駅付近の位置付けは次の通り。



4 その他

今後、東京都および鉄道事業者と連携し、事業化に向けた取組みを進めるとともに、駅前広場の整備などまちづくりを一層推進していく。